

平成 30 年 度

小 牧 市 民 病 院 改 革 プ ラ ン
(平成29年度～令和2年度版)
決 算 比 較

令和元年 11 月
小 牧 市

目 次

- 1 改革プランと平成 30 年度決算比較……………P 1
- 2 経営の効率化に対する取り組みの目標値と平成 30 年度決算比較……………P 2
- 3 改革プランと平成 30 年度決算との比較……………P 7
- 4 平成 30 年度決算と前年度決算との比較……………P 8
- 5 患者数等対目標値年度比較表 ……………P 9
- 6 財務指標等対目標値年度比較表 ……………P10
- 7 年度別経営指標 ……………P11

1 小牧市民病院改革プランと平成30年度決算比較

平成30年度は、診療報酬と介護報酬の同時改定を迎え、医師不足など厳しい経営環境の中で、一層の経営の効率化を図ることが極めて重要な課題となっています。また、急速に少子高齢化が進行する中、医療や介護を必要とする高齢者が増加し、地域医療を取り巻く環境が厳しくなっています。

地域にふさわしいバランスのとれた病床の機能の分化と連携を進め、効率的で質の高い医療提供体制の構築を国が進めており、今後構造の変化が見込まれています。

このような状況の下、当院は、老朽化した病院に代わる新病院建設を進めるとともに、高次医療病院として救急医療やがん診療など地域において提供されることが必要な医療に積極的に取り組み、地域の医療機関との連携を図り、合理的かつ効率的な病院運営に努めてまいりました。

改革プランに掲げた「経営の効率化に対する取り組みと数値目標」に係る収入増加・確保対策の取り組みについて、入院に関しては、収益・患者数、病床利用率は目標値に届かなかったものの、平均在院日数の短縮を図ることができました。一方、外来に関しては、収益・患者数が入院同様に目標値に届かなかったものの、前年度比での外来収益は増加し、一人当たりの外来収益は増加しました。

今後も経営の効率化に積極的に取り組み、多様化する医療需要に対応し、良質な医療を継続して提供するなど医療の質の向上を図り、地域の皆様の期待に応えられる病院に成長できるよう努めるとともに、尾張北部医療圏の中核病院として一層の努力を重ねてまいります。

2 経営の効率化に対する取り組みの目標値と平成30年度決算比較

小牧市民病院改革プランでは、主要な経営指標（経常収支比率、経常損益額、職員給与費対医業収益比率、病床利用率、平均在院日数など）について数値目標を掲げました。

平成30年度の目標値と決算との比較は下記の表のとおりです。

◇収入増加・確保対策

ア 病床利用率の向上と平均在院日数の短縮について

○入院収益の目標値比較 (単位：百万円)

年 度	平成30年度 計 画①	平成30年度 決 算②	平成29年度 決 算	②/①
入 院 収 益	12,264	11,678	11,861	95.2%

○入院患者数の目標値比較 (単位：人)

年 度	平成30年度 計 画①	平成30年度 決 算②	平成29年度 決 算	②/①
入 院 患 者 数	171,500	162,763	172,681	94.9%
1日平均患者数	470	446	473	

○病床利用率の目標値比較 (単位：%)

年 度	平成30年度 計 画①	平成30年度 決 算②	平成29年度 決 算	②/①
病 床 利 用 率	77.1	73.0	77.7	94.7%

○平均在院日数の目標値比較 (単位：日)

年 度	平成30年度 計 画①	平成30年度 決 算②	平成29年度 決 算	②/①
平均在院日数	10.9	10.6	10.9	97.2%

○病床利用率の向上と平均在院日数の短縮の分析について

クリニカルパス（※）による医療の標準化や入院支援の充実など、入院から退院までの療養計画を効率かつ効果的に行い、医療の質を落とすことなく病床管理対策を行ってきました。

その結果、入院患者数の減少により病床利用率が低下し、入院収益は減少したものの、患者1人当たりの入院診療収入が増加し、平均在院日数が短縮されました。

※クリニカルパスとは、医療提供を効率的に行うための工程管理手法。

イ 外来患者数について

○外来収益の目標値比較

(単位：百万円)

年 度	平成30年度 計 画①	平成30年度 決 算②	平成29年度 決 算	②/①
外 来 収 益	6,657	6,500	6,471	97.6%

○外来患者数の目標値比較

(単位：人)

年 度	平成30年度 計 画①	平成30年度 決 算②	平成29年度 決 算	②/①
外 来 患 者 数	317,200	311,412	320,476	98.2%
1日平均患者数	1,300	1,276	1,313	

○外来患者数の分析について

平成30年度の平日日数は、244日と前年度と同日でありました。また、治療の標準化、病床の有効活用の観点から、入院前検査、術前・術後の検査など、外来で行うことができる検査を可能な限り外来で行うよう徹底しました。さらに、紹介患者を円滑に受け入れる体制を整えるため、症状が安定した患者を地域のかかりつけ医へ積極的に逆紹介し、当院での診療が必要な患者を積極的に受け入れました。

その結果、外来患者数は減少しましたが、外来収益は増加し、患者1人当たりの外来診療収入は増加しました。

ウ 診療報酬請求について

医師、看護師、事務職員、委託職員を対象とした診療報酬請求に関する講習会を実施しました。

エ 未収金対策について

電話による速やかな催告を積極的に行い、発生段階での対応に取り組みました。また、過年度分の未収金につきましては、平成29年度より弁護士委託を始めており、継続して未収金の回収に努めました。

◇経費削減・抑制対策

オ 委託費の見直しについて

委託契約については、委託業務内容を十分検討し、仕様の見直しや価格交渉に取り組みました。しかし、新病院建設に係るエネルギーサービス事業等の増加要因もあり、委託費全体では増額となりました。

カ 薬品の見直しについて

薬局を中心に、後発医薬品の採用を拡大するとともに、業者との単価交渉等に取り組みました。高額な抗がん剤などは増加したものの、全体の薬品費は減額となりました。

キ 診療材料の見直しについて

事務局を中心に、材料単価について業者との単価交渉や、材料の見直しなどに取り組みました。しかし、一方でコイル、ステントなどの高額材料を用いる手術が増加したため、全体の診療材料費は増額となりました。

材料費の内訳

(単位：百万円)

項目	平成29年度	対医業収益 比率	平成30年度	対医業収益 比率
材料費	5,533	29.0%	5,604	29.5%
うち薬品費	3,538	18.5%	3,523	18.6%
うち材料費	1,989	10.4%	2,077	11.0%

ク 備品等の見直しについて

多職種で構成した購入等物品機種選定委員会により、医療機器の選定を行いました。購入単価については個別に調査・検討し、業者との交渉に取り組みました。

ケ リース料の見直しについて

平成30年度にリース満了となる機器について機器更新を延期し、再リースを行い、経費の削減を図りました。

コ エネルギーサービス事業の実施について

平成28年度より準備を進めてきたエネルギーサービス事業については、平成31年1月に新病院が完成し、平成31年2月より新病院へエネルギーの供給を開始しました。

令和元年5月の新病院開院に向けて、新病院の本格稼働に向けて省エネ対策やランニングコストの削減に努めました。

◇財務全般に係る目標数値比較

	項 目	平成30年度 計 画①	平成30年度 決 算②	平成29年度 決 算	②/①
(1)	経常収支比率 (%)	100.1	97.2	100.2	97.1%
(2)	医業収支比率 (%)	102.0	98.7	100.0	96.8%
(3)	職員給与費対医業 収益比率 (%)	47.6	49.8	48.9	104.6%
(4)	資金不足比率 (%)	0.0	0.0	0.0	—
(5)	入院患者一人1日 当たりの診療収入 (円)	71,500	71,748	68,688	100.3%
(6)	外来患者一人1日 当たりの診療収入 (円)	21,000	20,873	20,193	99.4%

◇医療機能（5疾病5事業等）に係る目標数値比較

	項 目	平成30年度 計 画①	平成30年度 決 算②	平成29年度 決 算	②/①
5 疾 病	が ん (人)	3,500	3,491	3,346	99.7%
	脳 卒 中 (人)	700	548	580	78.3%
	急性心筋梗塞 (人)	200	154	152	77.0%
	糖 尿 病 (人)	110	78	98	70.9%
	精 神 疾 患 (人)	35	17	18	48.6%
5 事 業	救 急 医 療 (人)	24,000	24,309	25,414	101.3%
	周 産 期 医 療 (件)	350	344	295	98.3%
	小 児 医 療 (人)	8,000	7,679	7,423	96.0%
	災 害 医 療 (件)	—	—	—	—
	へ き 地 医 療 (件)	—	—	—	—
	臨床研修医の受入数 (人)	23	21	22	91.3%
	患者満足度 (入院) (%)	86.0	84.9	83.0	98.7%
	患者満足度 (外来) (%)	77.0	78.7	76.0	102.2%

※5疾病は、がん（大腸、胃、肝、乳、肺など）、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下など）、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾病の延べ入院患者数を表示してあります。

※5事業は、救急医療（救急外来患者数）、周産期医療（分娩数）、小児医療（小児科入院数）、災害医療、へき地医療の件数を表示してあります。

※臨床研修医の受入数は、研修医1年生と2年生の受入人数です。

※患者満足度は、満足、やや満足を足した数字です。

◇収支計画に係る目標数値比較 (上段：目標値、下段：決算額)

(単位：百万円)

		平成 29 年度	平成 30 年度
収 益	医業収益	19,542	19,706
		19,093	18,967
	医業外収益	922	934
		871	903
	経常収益(A)	20,464	20,640
		19,964	19,870
費 用	医業費用	19,184	19,317
		19,099	19,209
	医業外費用	786	1,301
		835	1,240
	経常費用(B)	19,970	20,618
		19,934	20,449
経常損益(A)－(B) (C)		494	22
		30	△579
経常収支比率(%) (A)/(B)		102.5	100.1
		100.2	97.2
損 特 益 別	特別利益(D)	0	411
		75	390
	特別損失(E)	515	4,297
		384	4,475
特別損益(D)－(E) (F)		△515	△3,886
		△309	△4,085
純損益 (C)+(F)		△21	△3,864
		△279	△4,664
資本的収入		6,862	16,843
		5,150	16,682
資本的支出		8,554	22,039
		6,229	22,113
資本的収支差引不足額		1,692	△5,196
		1,079	△5,431

3. 改革プランと平成30年度決算との比較

1. 収支計画（収益的収支）

(単位:百万円)

区分	年度	30年度 新改革プラン 計画①	30年度 決算②	②/①
収 入	1. 医 業 収 益 a	19,706	18,967	96.2%
	(1) 料 金 収 入	18,921	18,178	96.1%
	入 院 収 益	12,264	11,678	95.2%
	外 来 収 益	6,657	6,500	97.6%
	(2) そ の 他	785	789	100.5%
	うち他会計負担金	150	150	100.0%
	2. 医 業 外 収 益	934	903	96.7%
	(1) 他会計負担金・補助金	604	583	96.5%
	(2) 国（県）補助金	23	27	117.4%
	(3) 長期前受金戻入	128	130	101.6%
(4) そ の 他	179	163	91.1%	
経 常 収 益 (A)	20,640	19,870	96.3%	
支 出	1. 医 業 費 用 b	19,317	19,209	99.4%
	(1) 職 員 給 与 費 c	9,381	9,444	100.7%
	(2) 材 料 費	5,651	5,604	99.2%
	(3) 経 費	3,075	3,119	101.4%
	(4) 減 価 償 却 費	1,120	963	86.0%
	(5) そ の 他	90	79	87.8%
	2. 医 業 外 費 用	1,301	1,240	95.3%
	(1) 支 払 利 息	74	75	101.4%
	(2) 保 育 費	74	74	100.0%
	(3) そ の 他	1,153	1,091	94.6%
経 常 費 用 (B)	20,618	20,449	99.2%	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	22	△ 579	-2631.8%	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	411	390	94.9%
	2. 特 別 損 失 (E)	4,297	4,475	104.1%
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	△ 3,886	△ 4,085	105.1%
純 損 益 (C)+(F)	△ 3,864	△ 4,664	120.7%	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	-	
不 良 債 務	流 動 資 産 (7)	28,661	25,439	88.8%
	流 動 負 債 (4)	12,083	8,977	74.3%
債 務	うち一時借入金			-
	翌年度繰越財源(ウ)			-
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (イ)			-
差引	不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)]-(ア)-(ウ)	△ 16,578	△ 16,462	99.3%
単 年 度 資 金 不 足 額	0	0	-	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.1%	97.2%	97.1%	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	-	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	102.0%	98.7%	96.8%	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	47.6%	49.8%	104.6%	
病 床 利 用 率	77.1%	73.0%	94.7%	

2. 収支計画（資本的収支）

(単位:百万円)

区分	年度	30年度 新改革プラン 計画①	30年度 決算②	②/①
収 入	1. 企 業 債	13,050	13,050	100.0%
	2. 他 会 計 出 資 金			-
	3. 他 会 計 負 担 金	3,749	3,578	95.4%
	4. 他 会 計 借 入 金			-
	5. 他 会 計 補 助 金			-
	6. 国（県）補助金	44	45	102.3%
	7. そ の 他		9	皆増
	収 入 計 (a)	16,843	16,682	99.0%
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)			-
	前年度同意債で当年度借入分 (c)			-
純計(a)-(b)+(c) (A)	16,843	16,682	99.0%	
支 出	1. 建 設 改 良 費	21,596	21,652	100.3%
	2. 企 業 債 償 還 金	246	246	100.0%
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金			-
	4. そ の 他	197	215	109.1%
支 出 計 (B)	22,039	22,113	100.3%	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	5,196	5,431	104.5%	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	0	428	皆増
	2. 利 益 剰 余 金			-
	3. 減 債 積 立 金	82	82	100.0%
	4. 建 設 改 良 積 立 金	5,020	4,901	97.6%
	5. そ の 他	94	20	21.3%
計 (D)	5,196	5,431	104.5%	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	-	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)			-	
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	-	

3. 一般会計からの繰入金

(単位:千円)

区分	年度	30年度 新改革プラン 計画①	30年度 決算②	②/①
収 益 的 収 支		754,462	732,906	97.1%
資 本 的 収 支		3,748,632	3,577,549	95.4%
合 計		4,503,094	4,310,455	95.7%

4. 平成30年度決算と前年度決算との比較

1. 収益的収支決算比較

(単位:百万円、%)

区分	年度		②-①	②/①	
	29年度 決算①	30年度 決算②			
収 入	1. 医 業 収 益 a	19,093	18,967	△ 126	99.3%
	(1) 料 金 収 入	18,332	18,178	△ 154	99.2%
	入 院 収 益	11,861	11,678	△ 183	98.5%
	外 来 収 益	6,471	6,500	29	100.4%
	(2) そ の 他	761	789	28	103.7%
	うち他会計負担金	128	150	22	117.2%
	2. 医 業 外 収 益	871	903	32	103.7%
	(1) 他会計負担金・補助金	499	583	84	116.8%
	(2) 国(県)補助金	26	27	1	103.8%
	(3) 長期前受金戻入	166	130	△ 36	78.3%
(4) そ の 他	180	163	△ 17	90.6%	
経 常 収 益 (A)	19,964	19,870	△ 94	99.5%	
支 出	1. 医 業 費 用 b	19,099	19,209	110	100.6%
	(1) 職 員 給 与 費 c	9,341	9,444	103	101.1%
	(2) 材 料 費	5,533	5,604	71	101.3%
	(3) 経 費	3,076	3,119	43	101.4%
	(4) 減 価 償 却 費	1,061	963	△ 98	90.8%
	(5) そ の 他	88	79	△ 9	89.8%
	2. 医 業 外 費 用	835	1,240	405	148.5%
	(1) 支 払 利 息	69	75	6	108.7%
	(2) 保 育 費	74	74	0	100.0%
	(3) そ の 他	692	1,091	399	157.7%
経 常 費 用 (B)	19,934	20,449	515	102.6%	
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	30	△ 579	△ 609	-1930.0%	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	75	390	315	520.0%
	2. 特 別 損 失 (E)	384	4,475	4,091	1165.4%
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	△ 309	△ 4,085	△ 3,776	1322.0%
純 損 益 (C)+(F)	△ 279	△ 4,664	△ 4,385	1671.7%	
累 積 欠 損 金 (G)	0	0	0	-	
不 良 債 務	流 動 資 産 (7)	26,000	25,439	△ 561	97.8%
	流 動 負 債 (7)	4,966	8,977	4,011	180.8%
	うち一時借入金				-
	翌年度繰越財源(ウ)				-
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (I)				-
	差引 不 良 債 務 (オ)	△ 21,034	△ 16,462	4,572	78.3%
	[(イ)-(エ)] - [(7)-(ウ)]				
	単年度資金不足額	0	0	0	-
	経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	100.2%	97.2%	-	97.0%
	不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	-	-
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	100.0%	98.7%	-	98.7%	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	48.9%	49.8%	-	101.8%	
病 床 利 用 率	77.7%	73.0%	-	94.0%	

2. 資本的収支決算比較

(単位:百万円、%)

区分	年度		②-①	②/①	
	29年度 決算①	30年度 決算②			
収 入	1. 企 業 債	3,840	13,050	9,210	339.8%
	2. 他 会 計 出 資 金				-
	3. 他 会 計 負 担 金	325	3,578	3,253	1100.9%
	4. 他 会 計 借 入 金				-
	5. 他 会 計 補 助 金				-
	6. 国(県)補助金	979	45	△ 934	4.6%
	7. そ の 他	6	9	3	150.0%
	収 入 計 (a)	5,150	16,682	11,532	323.9%
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)				-
	前年度同意債で当年度借入分 (c)				-
純計(a)-[(b)+(c)] (A)	5,150	16,682	11,532	323.9%	
支 出	1. 建 設 改 良 費	5,716	21,652	15,936	378.8%
	2. 企 業 債 償 還 金	246	246	0	100.0%
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金				-
	4. そ の 他	267	215	△ 52	80.5%
	支 出 計 (B)	6,229	22,113	15,884	355.0%
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	1,079	5,431	4,352	503.3%	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	606	428	△ 178	70.6%
	2. 利 益 剰 余 金				-
	3. 減 債 積 立 金	82	82	0	100.0%
	4. 建 設 改 良 積 立 金	384	4,901	4,517	1276.3%
	5. そ の 他	7	20	13	285.7%
計 (D)	1,079	5,431	4,352	503.3%	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	-	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)				-	
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	-	

3. 一般会計からの繰入金比較

(単位:千円)

区分	年度		②-①	②/①
	29年度 決算①	30年度 決算②		
収 益 的 収 支	626,007	732,906	106,899	117.1%
資 本 的 収 支	325,225	3,577,549	3,252,324	1100.0%
合 計	951,232	4,310,455	3,359,223	453.1%

5. 患者数等対目標値年度比較表(総括)

(上段:目標値、下段:決算値)

◇入院患者数の目標値比較

(単位:人)

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入 院 患 者 数	178,000	178,000	171,500
	177,226	172,681	162,763
1 日 平 均 患 者 数	488	488	470
	486	473	446

◇病床利用率の比較

(単位:%)

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
病 床 利 用 率	80.5	80.3	77.1
	79.7	77.7	73.0

◇平均在院日数の比較

(単位:日)

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平 均 在 院 日 数	11.5	11.4	10.9
	11.0	10.9	10.6

◇外来患者数の目標値比較

(単位:人)

項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
外 来 患 者 数	340,200	329,400	317,200
	337,605	320,476	311,412
1 日 平 均 患 者 数	1,400	1,350	1,300
	1,389	1,313	1,276

6. 財務指標等対目標値年度比較表(総括)

(上段:目標値、下段:決算値)

◇財務全般に係る指標対目標値年度比較

	項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
(1)	経常収支比率(%)	—	102.5	100.1
		102.2	100.2	97.2
(2)	医業収支比率(%)	—	101.9	102.0
		101.9	100.0	98.7
(3)	職員給与費対医業収益比率(%)	—	46.9	47.6
		47.5	48.7	49.8
(4)	資金不足比率(%)	—	0.0	0.0
		0.0	0.0	0.0
(5)	入院患者一人1日当たりの 診療収入(円)	—	67,500	71,500
		67,393	68,688	71,748
(6)	外来患者一人1日当たりの 診療収入(円)	—	20,500	21,000
		19,402	20,193	20,873

◇医療機能(5疾病5事業等)に係る目標数値比較

	項 目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
5 疾 病	が ん (人)	—	3,700	3,500
		3,771	3,346	3,491
	脳 卒 中 (人)	—	600	700
		609	580	548
	急 性 心 筋 梗 塞 (人)	—	200	200
		144	152	154
糖 尿 病 (人)	—	100	110	
	122	98	78	
精 神 疾 患 (人)	—	10	35	
	7	18	17	
5 事 業	救 急 医 療 (人)	—	27,000	24,000
		27,350	25,414	24,309
	周 産 期 医 療 (件)	—	420	350
		360	295	344
	小 児 医 療 (人)	—	7,200	8,000
		6,508	7,423	7,679
災 害 医 療 (件)	—	—	—	
	—	—	—	
へ き 地 医 療 (件)	—	—	—	
	—	—	—	
臨 床 研 修 医 の 受 入 人 数 (人)	—	23	23	
	24	22	21	

- 5疾病は、がん(大腸、胃、肝、乳、肺など)、脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下など)、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾病の延べ入院患者数を表示しています。
- 5事業は、救急医療(救急外来患者数)、周産期医療(分娩数)、小児医療(小児科入院数)、災害医療、へき地医療の件数を表示しています。
- 臨床研修医の受入数は、研修医1年生と2年生の受入人数です。

7. 年度別経営指標

項目	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	経営指標	
(1) 経常収支比率 (%)	103.7	104.1	102.2	100.2	97.2	102.2	
(2) 医業収支比率 (%)	104.1	104.1	101.9	100.0	98.7	93.3	
(3) 他会計繰入金対医業収益比率 (%)	2.7	3.2	3.2	3.3	3.9	12.9	
(4) 職員給与費対医業収益比率 (%)	44.9	44.5	48.7	49.3	49.8	51.8	
(5) 病床利用率 (%)	82.4	81.2	79.7	77.7	73.0	81.9	
(6) 平均在院日数 (日)	11.8	11.3	11.0	10.9	10.6	-	
(7) 患者紹介率 (%)	53.4	52.7	65.8	68.1	64.9	-	
(8) 一日平均患者数	入院(人)	499.0	493.0	485.6	473.1	445.9	510.0
	外来(人)	1,494.7	1,492.4	1,389.3	1,313.4	1,276.3	1,179.0
(9) 患者一人1日当たり診療収入	入院(円)	64,990	66,444	67,393	68,688	71,748	64,499
	外来(円)	16,858	19,401	19,402	20,193	20,873	18,914
(10) 職員一人1日当たり診療収入	医師(円)	274,967	293,711	296,248	291,292	292,527	299,484
	看護部門(円)	76,810	77,606	73,295	72,728	74,114	75,100
(11) 病床100床当たり職員数	医師(人)	32.1	31.7	30.0	30.7	29.9	24.2
	看護部門(人)	117.3	120.7	124.0	123.3	120.1	100.0
	全体(人)	191.5	196.0	200.1	200.9	197.7	163.1

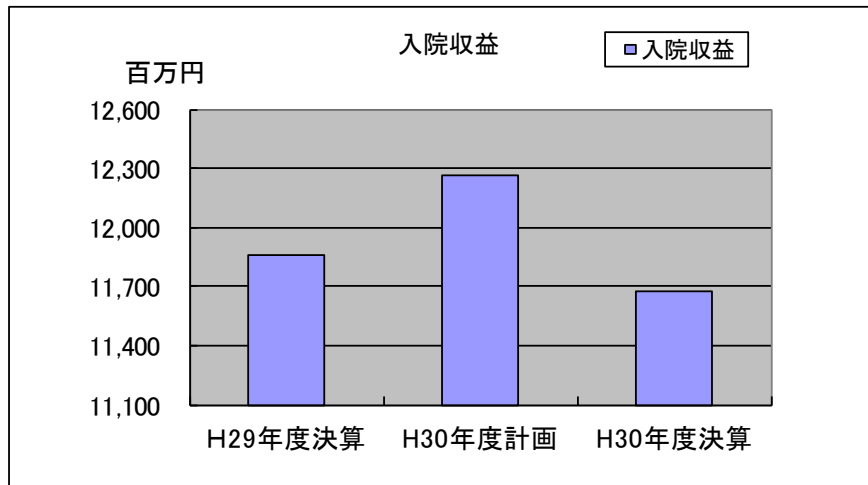
(注) 経営指標は平成29年度地方公営企業年鑑の500床以上の黒字病院のみの規模を記載。

(注) 平成29年度地方公営企業年鑑の500床以上の対象病院は、黒字病院数37、赤字病院数40、合計77病院。

年度別収益患者数比較

項目	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
(1) 入院収益 (千円)	11,836,033	11,989,304	11,943,825	11,861,082	11,677,910
(2) 外来収益 (千円)	6,148,212	7,035,810	6,550,044	6,471,372	6,500,018
(3) 入院患者数 (人)	182,121	180,441	177,226	172,681	162,763
(4) 外来患者数 (人)	364,713	362,656	337,605	320,476	311,412
平日日数 (日)	244	243	243	244	244

	H29年度決算	H30年度計画	H30年度決算
入院収益	11,861	12,264	11,678



	H29年度決算	H30年度計画	H30年度決算
外来収益	6,471	6,657	6,500

